

道路舗装の個別施設計画

令和 8 年 3 月

令和 8 年 10 月 一部改訂

久山町 都市整備課

目次

1. 道路舗装の現状
 - 1－1 管理道路の現状
 - 1－2 舗装補修予算の現状
 - 1－3 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の考え方
 - 2－1 舗装管理の基本方針
 - 2－2 管理道路の分類
 - 2－3 管理基準
 - 2－4 点検方法・点検頻度

3. 計画期間
 - 3－1 計画期間

4. 対策の優先順位
 - 4－1 対策の優先順位

5. 舗装の状態・対策内容・実施時期
 - 5－1 診断結果
 - 5－2 対策内容と実施時期

1. 道路舗装の現状

1-1 管理道路の現状

管理延長と舗装延長

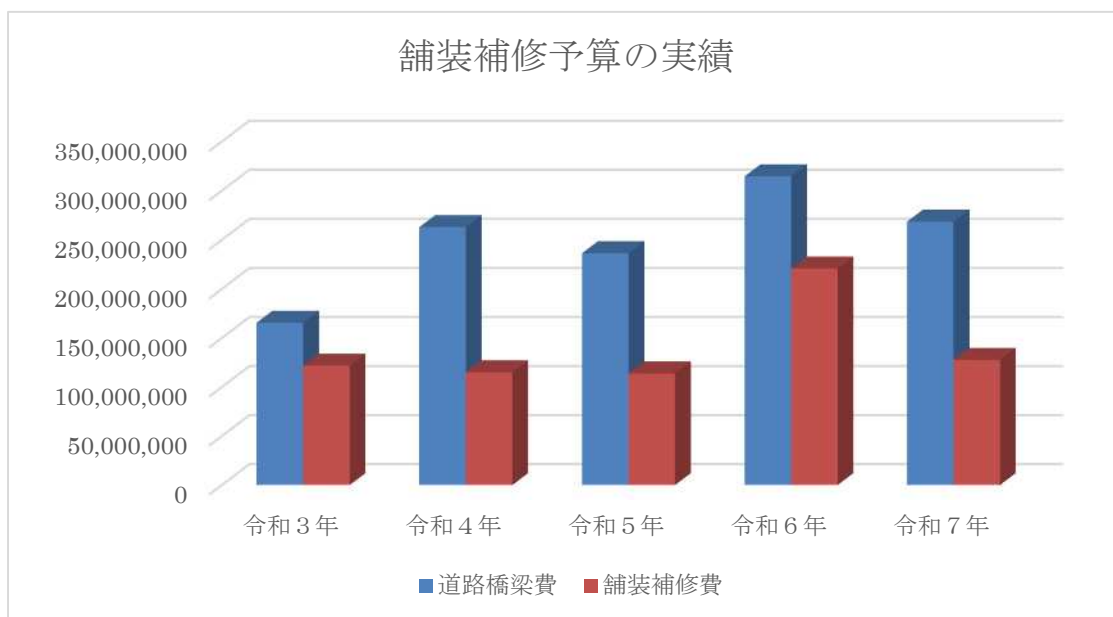
(令和8年3月時点)

道路区分	路線数	管理延長 (km)	舗装延長 (km)		舗装率 (%)
			As 舗装	Co 舗装	
1級町道	8	13.686	13.194	0.023	96.6
2級町道	12	10.392	10.109	0.056	97.8
その他町道	596	128.747	84.321	1.953	67.0
計	616	152.825	107.624	2.031	71.8

※簡易舗装はAs舗装に含まれる

1-2 舗装補修予算の現状

道路橋梁費に占める舗装補修費の割合は約56.0%となっています。



1-3 舗装の現状

令和6年度に延長28.7kmの区間において、路面性状調査を実施しました。この調査において、約27.5%（約7.9km）の道路で補修が必要と判断されました。なお、路面性状調査は町道の一部の区間を対象として実施しているため、調査対象区間以外にも補修が必要な箇所があります。

職員による道路巡視や住民からの通報等により、必要に応じて補修等を行っています。

2. 舗装の維持管理の考え方

2-1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化及びライフサイクルコスト（LCC）の縮減を目指します。

2-2 管理道路の分類

大型車交通量、路線の重要度等を踏まえ、以下のとおり分類します。

分 類	対象道路
分類 C	1 級町道、2 級町道、工業団地路線
分類 D	上記以外の道路（生活道路）

2-3 管理基準

舗装の損傷状況を把握するため、ひび割れ率、わだち掘れ量及び MCI を管理指標とし、以下の基準を設定します。

ひび割れ率	わだち掘れ量	M C I
40%以上	40mm 以上	4.0 以下

2-4 点検方法・点検頻度

分 類	点検方法	点検頻度
分類 C	目視点検	5 年に 1 回
分類 D	職員等の道路巡視による路面状況把握	

3. 計画期間

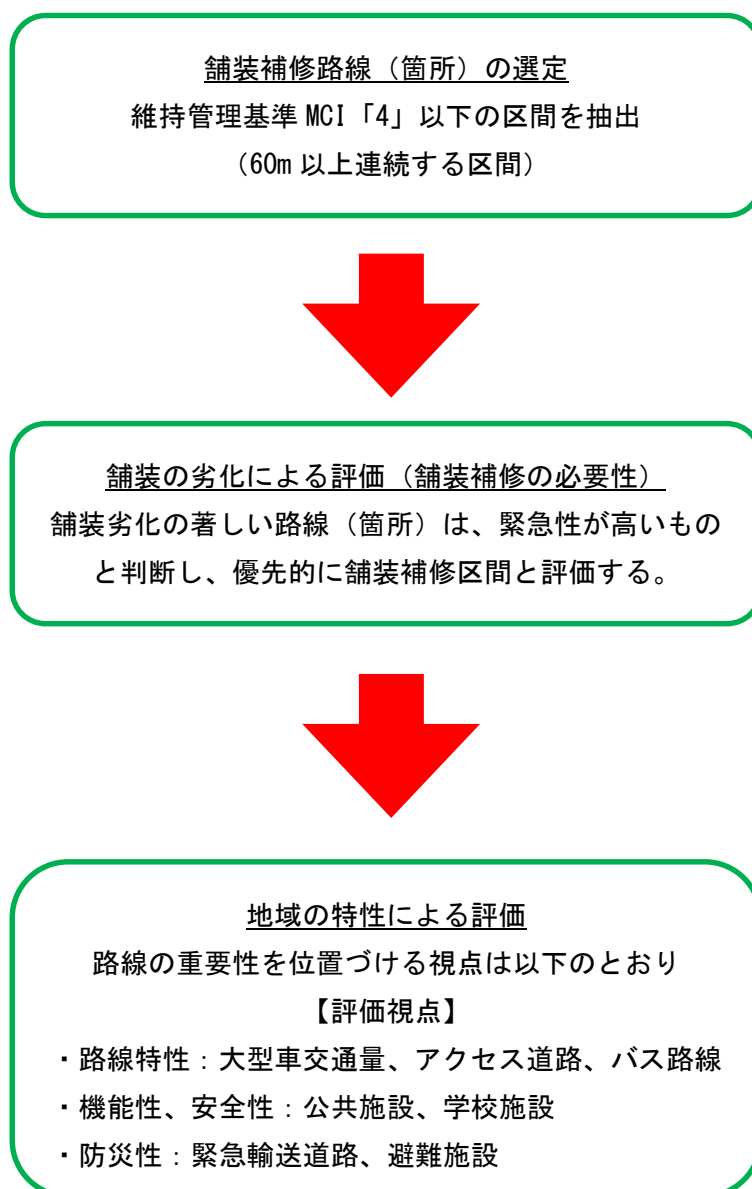
3-1 計画期間

本個別施設計画の計画期間は、6 年とします。

4. 対策の優先順位

4-1 対策の優先順位

対策の優先順位は、路面性状調査結果に基づく「ひび割れ率」及び「わだち掘れ量」の分布状況に加え、地域特性、舗装の損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し、総合的に決定します。



5. 舗装の状態・対策内容・実施時期

5-1 診断結果

令和6年度に点検した28.7kmの診断結果は以下のとおりです。

分類	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ
分類C	20.8km	3.9km	4.0km

区分Ⅰ：健全（損傷レベル小：ひび割れ率20%未満程度または $4 < MCI$ ）

区分Ⅱ：表層機能保持段階（損傷レベル中：ひび割れ率20%以上程度または $MCI \leq 4$ ）

区分Ⅲ：修繕段階（損傷レベル大：ひび割れ率40%以上程度または $MCI \leq 3$ ）

アスファルト舗装の判定区分

区分		状態
Ⅰ	健全	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である。
Ⅱ	表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。
Ⅲ	修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし、それを超過している、または早期に管理基準を超過することが予見される状態である。

アスファルト舗装の診断区分と対策工法

区分		状態
Ⅰ	健全	—
Ⅱ	表層機能保持段階	（対ひび割れ）シール材注入工法、表面処理工法、パッチング、わだち部オーバーレイ工法、薄層オーバーレイ工法等 （対わだち掘れ）切削工法、パッチング、わだち部オーバーレイ工法等
Ⅲ	修繕段階	切削オーバーレイ、路盤打替等

なお、診断区分にかかわらず、路線の重要性、舗装の劣化状況、今後の劣化進行等を踏まえ、予防的に対策を実施する場合があります。

5－2 対策内容と実施時期

実施時期は、点検結果及び維持補修の効率化を踏まえ、表のとおりとします。

対策予定箇所の内容と実施時期

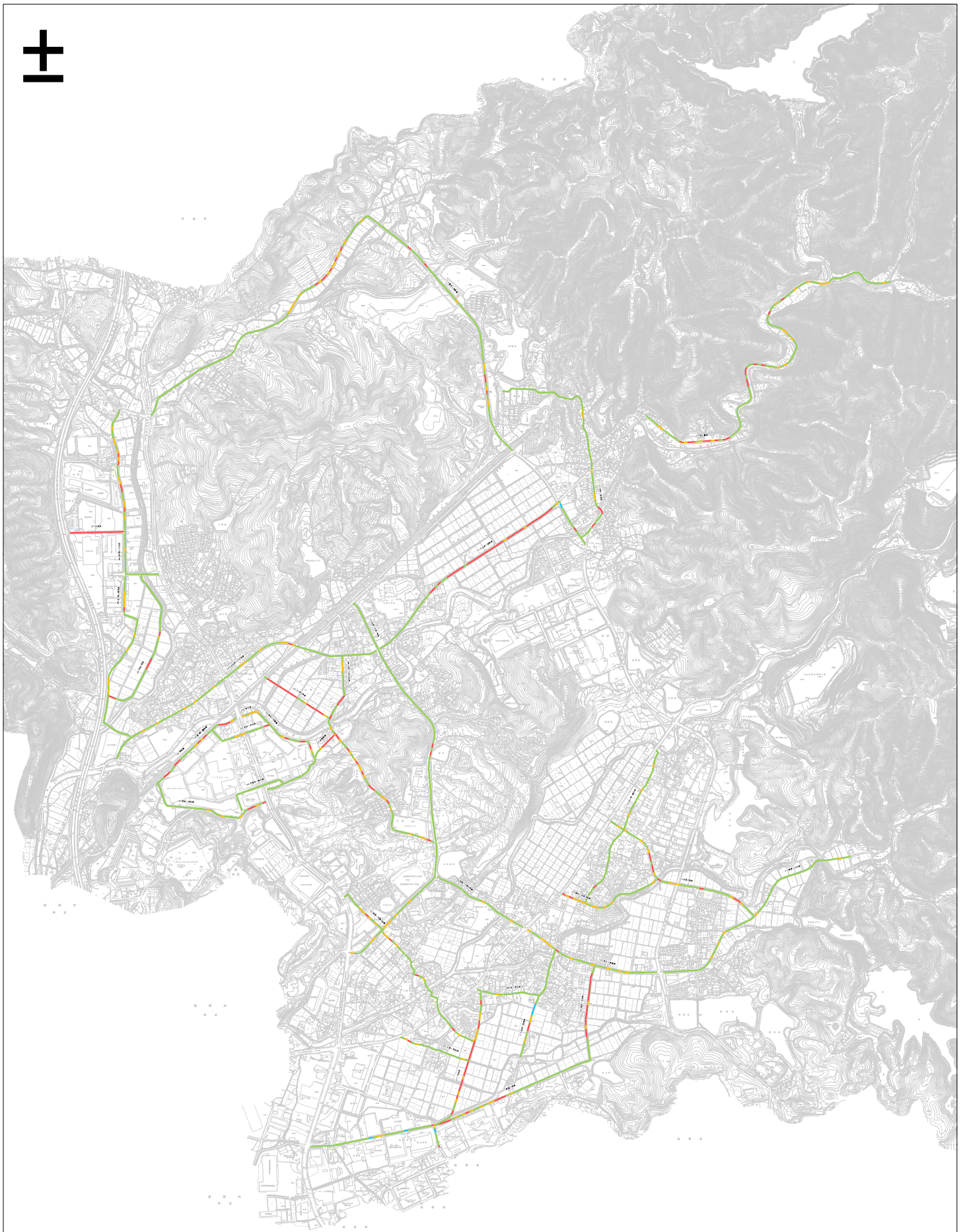
番号	分類	路線名	区分	診断結果	延長	対策内容	実施時期
1	C	広浦線	その他	Ⅲ	270m	路上路盤再生	令和 8 年度
2	C	前田～証拠線	2 級	Ⅱ	190m	舗装打替	令和 8 年度
3	C	登り尾～大谷線	1 級	Ⅲ	245m	切削 OL	令和 8 年度
4	C	登り尾～大谷線	1 級	Ⅲ	550m	切削 OL	令和 9 年度
5	C	和田線	2 級	Ⅲ	700m	切削 OL	令和 9 年度
6	C	高橋～原線	1 級	Ⅱ	400m	路上路盤再生	令和 10 年度
7	C	上山田～猪野線	1 級	Ⅲ	740m	路上路盤再生	令和 10 年度
8	C	木寄～前田線	その他	Ⅱ	250m	舗装打替	令和 10 年度
9	C	宮ノ前～園田線	その他	Ⅱ	260m	路上路盤再生	令和 11 年度
10	C	深町線	その他	Ⅱ	270m	路上路盤再生	令和 11 年度
11	C	塚崎～深町線	その他	Ⅱ	140m	路上路盤再生	令和 12 年度
12	C	畑～轟線	1 級	Ⅱ	680m	路上路盤再生	令和 12 年度
13	C	堀田～辻畑線	その他	Ⅱ	470m	路上路盤再生	令和 12 年度
14	C	山田～久原 1 号線	1 級	Ⅱ	300m	舗装打替	令和 13 年度
15	C	上山田～下山田線	2 級	Ⅱ	370m	路上路盤再生	令和 13 年度
16	C	正現寺線	2 級	Ⅱ	150m	路上路盤再生	令和 13 年度
17	C	俵木～天野線	その他	I	310m	路上路盤再生	令和 13 年度
18	C	瓜生園～野添線	その他	Ⅱ	80m	路上路盤再生	令和 13 年度
19	C	住出～古村線	その他	I	40m	路上路盤再生	令和 13 年度

道路舗装の個別施設計画概算工事費算出表

番号	分類	路線名	区分	診断結果	延長	平均幅員	面積	概算工事費	対策内容	実施時期
1	C	広浦線	その他	Ⅲ	270 m	10.0 m	2700 m ²	¥55,080,000	路上路盤再生	令和8年度
2	C	前田～証拠線	2級	Ⅱ	190 m	5.0 m	950 m ²	¥7,410,000	舗装打替	令和8年度
3	C	登り尾～大谷線	1級	Ⅲ	245 m	10.0 m	2450 m ²	¥31,115,000	切削OL	令和8年度
4	C	登り尾～大谷線	1級	Ⅲ	550 m	9.0 m	4950 m ²	¥62,865,000	切削OL	令和9年度
5	C	和田線	2級	Ⅲ	700 m	5.0 m	3500 m ²	¥26,600,000	切削OL	令和9年度
6	C	高橋～原線	1級	Ⅱ	400 m	7.2 m	2880 m ²	¥58,752,000	路上路盤再生	令和10年度
7	C	上山田～猪野線	1級	Ⅲ	740 m	6.7 m	4958 m ²	¥101,143,200	路上路盤再生	令和10年度
8	C	木寄～前田線	その他	Ⅱ	250 m	4.0 m	1000 m ²	¥7,600,000	舗装打替	令和10年度
9	C	宮ノ前～園田線	その他	Ⅱ	260 m	6.1 m	1586 m ²	¥32,354,400	路上路盤再生	令和11年度
10	C	深町線	その他	Ⅱ	270 m	6.1 m	1647 m ²	¥33,598,800	路上路盤再生	令和11年度
11	C	塚崎～深町線	その他	Ⅱ	140 m	6.0 m	840 m ²	¥17,136,000	路上路盤再生	令和12年度
12	C	畑～轟線	1級	Ⅱ	680 m	7.0 m	4760 m ²	¥97,104,000	路上路盤再生	令和12年度
13	C	堀田～辻畑線	その他	Ⅱ	470 m	6.0 m	2820 m ²	¥57,528,000	路上路盤再生	令和12年度
14	C	山田～久原1号線	1級	Ⅱ	300 m	7.1 m	2130 m ²	¥16,614,000	舗装打替	令和13年度
15	C	上山田～下山田線	2級	Ⅱ	370 m	7.1 m	2627 m ²	¥53,590,800	路上路盤再生	令和13年度
16	C	正現寺線	2級	Ⅱ	150 m	5.8 m	870 m ²	¥17,748,000	路上路盤再生	令和13年度
17	C	俵木～天野線	その他	Ⅰ	310 m	6.0 m	1860 m ²	¥37,944,000	路上路盤再生	令和13年度
18	C	瓜生園～野添線	その他	Ⅱ	80 m	6.0 m	480 m ²	¥9,792,000	路上路盤再生	令和13年度
19	C	住出～古村線	その他	Ⅰ	40 m	6.0 m	240 m ²	¥4,896,000	路上路盤再生	令和13年度

概算工事費総計

¥728,871,200



0 250 500 1,000 m

1/6,000

道路ストック拠点域（種別）評価		
評価項目（MCI）		
凡例	MCI	修繕の判断基準
	5.1以上	望ましい管理水準
	4.1～5.0	修繕することが望ましい
	3.1～4.0	修繕が必要である
	3.0以下	早急に修繕が必要である

令和6年度 町道MCI評価一覧表

更新日：令和8年3月

作成者：都市整備課

